



集落支援だより

こんにちは！

秋も深まり、冬の足音が近づくなか
皆さん、いかがお過ごしでしょうか？
地域おこし協力隊・集落支援分野 担当の廣田です。
今回は新たな地域での活動、大学生の滞在、個人
の近況をお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当

ひろた しゅんき
廣田 旬紀 隊員

集落支援、拡大中！

本年度は、協力隊の集落支援として、これまで関わりが薄かった地域にも活動を広げています。今回は、3つの地域の取り組みを紹介します。

まずは、尾野本・森野自治区です。コロナ禍以降、久々に復活した「夜泣き地蔵尊祭礼」に参加しました。地域の皆さんが手作りした帽子や前掛けを子どもたちが地蔵に掛け替え、参拝者に団子を振るまうなど、地域の温かさに触れることができました。9月に行われた、神社祭礼にも参加し、それらの仕組みや課題点から、今後の祭礼の発展に活かせる多くのヒントを得ました。



▲夜泣き地蔵尊祭礼にて
自治区の皆さんと。

次に新郷・小清水自治区です。小清水自治区では、木地師の墓の整備を契機に富士地区の歴史的資源を整理する動きが進むなか、地域パンフレットの作成を依頼され、地域の皆さんや西会津国際芸術村と連携して完成させました。今後は地域イベントなどで活用する予定です。

最後に上谷・下谷地区です。サロン活動や人足補助などを通じて地域の皆さんと顔を合わせ、さまざまな聞き取りを行い、地域資源を活かした関係人口創出や地域活性化の可能性について意見交換を重ねています。

ZEN大学生が 西会津に滞在！

今年新設された通信制大学「ZEN大学」の学生が、9月1日から約1ヶ月間「生きる」と生かされる」をテーマに奥川・真ヶ沢自治区を拠点に滞在しました。私たち集落支援の協力隊は、学生の学びを支えるサポートやプログラム運営を担当しました。



▲ZEN大学生、農家体験

学生たちは慣れない田舎暮らしのなか、町のあちこちを訪れ、多くの人と出会い、西会津の多彩な表情を体感しながら学びを深めていました。そして何より、全力で西会津ライフを楽しんでいました！滞在の終盤には成果発表も行われ、それぞれが自分の視点で考察をまとめ、地域の皆さんと共有しました。

このような長期的な学生の受け入れは、地域との関わりをより密接なものにし、学生にとっては実践的な学びに繋がります。また地域にも大きな活力をもたらすほか、将来的には彼らが関係人口として継続的に関わってくれることも期待できます！

町での生活・近況

西会津に来てから早くも半年以上が経ちました。盆踊りや祭礼での、地域の皆さんと共に汗だくになって過ごす時間は、土地との繋がりをを感じるかけがえのないものです。

田んぼ作業では、今まで知らなかった稲作の大変さ、都会では味わえない季節の移ろいを肌で感じました。

地域の歴史や風土についても、地域の皆さんから直接話を聞くだけでなく、自分でも資料で調べたりしています。「いずれは誰よりも詳しく語れるようになれたら」という大それた夢を密かに抱いています。これからも地域の皆さんと一緒に、楽しんで活動をしていきます。引き続き、よろしく願います！

